

新年のご挨拶

松下明子



明けましておめでとうございます。

二年間もコロナ禍で、行きたいところも行けず会いたい人にも会えない不自由な生活を送っているために、どうしても運動不足になっておりますが、皆様にはお元気で新年を迎えられたことと思います。

何とかコロナが終息して、笑顔があらふれ心健やかに過ごせる年になるように祈ってやみません。

何か明るい話題を新年号の紙面に載せたいと考えて、「新松戸みかん育て隊」の報告をしたいと思えます。

新松戸駅東口方面を見ますと小高い山がみかん山になっていきます。「誰かみかん山を管理してほしい」と頼まれた友人が、去年、助っ人に声をかけて下さいました。

そこには、みかん、文旦、ゆずが七十五本植えられています。現地に行くと段々畑で青空でのボランティア活動、若い人を見つめるチャンスで、いい切っ掛け作りと喜びました。

お世話させて頂きと返事をする、と、直ぐにボランティア活動が始まりました。人探すと山の管理とが同時進

行です。声かけるも腰が悪いとか、虫が嫌いとか暑さ寒さは辛いとか云々なかなか人探しは難しいです。何事もそんなに甘くなかったです。でも私としては今、草取りも剪定も楽しくやっていますので是非皆さまご参加ください。

十月末から山がオレンジ色に染まっています。十一月に一回目の収穫をしました。少し酸味がありましたが、苦労して収穫したみかんの味は格別でした。

「助っ人の家」のガレージセールで売つたら、見た目はイマイチでもアツという間に完売して嬉しかったです。朝買つて下さつた方が、数時間後に「美味しかったから買いに来たのよ」と言ってくださつた時には涙が出ました。苦労したと言いました。夏の暑い時の草取りは半端じゃなく頭から靴の中まで汗でびしょり、あの汗のかき方は笑ってしまうくらいでした。

今テレビで放映されて人気のある鶴殿さんの「優レモン」に対して「新松戸のみかん」と言っています。今年は、素人なりに研究し、もっと美味しいみかんを作れるように頑張っていこうと張り切っていますので、ご期待ください。

またこの時期に友人から「みつばちと地球とわたし」という映画を見ませんか」とチラシをいただき、環境問題を取り上げていると知り、直ぐに行きますと返事をしました。

映画を観て、みつばちが絶滅危惧種だったことやみつばちの生きやすい環境が、人類にとつても最も生きやすい環境だったと知りました。世界中の人々が、これから育つ子供たちに残す地球をより良いものにするために「地球、自然、環

境」を大事なことで考え努力しなければと学んできました。

松戸くらしの助っ人の活動も今年、二十六年を迎えますが、私達も段々と高齢化しており、今後の活動がどうなっていくのかと不安になる時があります。

「お仕着せでなく、お金儲けでなく、お互いの気持ちで」の理念は時代が変わっても大事なことで信じています。この理念を継承していくためにも大勢の人材が必要です。どうぞ是非ともお知り合いに声掛けをしていただきたくお願いいたします。

皆様からの年会費と、ご寄付によって助っ人の活動が支えられています。が、行政の後盾のない助っ人がこれからどうやって活動するか正念場です。

理念を継続して、もっと前進できるように、皆様のお役に立てられるように頑張りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



人物 地域をつないでいきたい



村田 美加

初めまして、十月に「助っ人」に入会させていただきました村田です。私は、主人の仕事の関係で、関東、東北を転勤していて、松戸には十二年ぶり二度目になります。久しぶりの松戸は誰もが、優しく、親切でとても暮らしやすくなっていました。自身の生活スタイルなどが変化しているということも該当するのでしょうか、このままここで暮らしていきたいなと思わせる土地であることは、日々の生活で感じるがあります。

二〇二〇年コロナの緊急事態宣言最中に松戸にきて、毎日街に慣れるように、歩いていました。そこから、一年が経過し、「何かやってみたい」「松戸をもっと知りたい」「つながりが欲しい」という思いで、市で開講している「まつど地域活躍塾」を五月から受講させていただきました。講義では、松戸で活動している市民活動のこと、ボランティアのこと、高齢化、貧困のこと、地域で抱える様々な課題を知ることができました。各講義後のふりかえりで、「何かこれからやってみたいことがイメージできましたか？」という問いがあり、最初のうちは、何も浮かばず、他の方のプレゼン能力や、話し方のうまさに、ただただ感心し、不甲斐ない自身の発表能力に絶望していました。九月に入ると、実地体験ができる機会があり、各団体さんのプレゼンを聞

いていたときに、「おしきせでない、お金もうけでない、お互いさまの気持ち」というところに、心を打たれ、自身のワンオペ育児時代、多くの人に助けてもらったことを思い出し、助っ人さんで病院介助をさせてもらいました。活動中に、助っ人の活動内容を事務局長さんに伺い、「私も手伝いたい!」という気持ちが沸き、即日協力会員になりました。現在は、助っ人さんの活動と並行し、塾の仲間と始めた活動や地域の街づくりに関わる活動をしています。何かのご縁でまたお世話になつていく松戸で、人や物、地域とのつながりを大事にしながら、自分のできる事をお手伝いしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

介護保険は役に立たない



中村 一弘

私は去年九月で七十歳となりました。一昨年四月膀胱がん(ステージⅠ)で手術をしてから三ヶ月毎の再検査でもがんが見つかり、都合三回手術を受けました。病院のベッドの上ではガンをについての勉強、自分の人生を考えること、今後どう生きるかを考えることが中心で、七十歳を真近として何も残せていない自分に落ち込んでいました。

その中で、徐々に元気を回復できたのは中島みゆき「時代」の歌であり、何回も死ぬような病气から回復して活躍している友人との電話、そして何よりもコロナの真つただ中で、患者のために昼夜全力で取り組んでいる医療スタッフの姿でした。

今年に入り仕事を減らし、何かをやるうと考えていた時「松戸活躍塾」を知ったこと、連れ合い(妻)は障がい者ですが、六十五歳を迎える今年、障がい福祉から介護保険への強制移行されることを勉強していく中で、介護保険はいざ使うときになると役に立たない制度であることを知りました。

二〇〇〇年「高齢者介護の社会化」をスローガンに、「家族を介護から解放する」事を目的としてできた介護保険制度は二十年间でまた「家族が介護の中心」に逆戻りし、「老老介護」「認認介護」「介護殺人」などという現実も知りました。

家族だけで介護は行き詰る、妻も昼はヘルパーさんと家事をやりたい、私も昼は他の方の介護をでき限りしていくという気持ちで「松戸くらしの助っ人」に係らせて頂きました。よろしくお願いいたします。

時代

今はこんなに悲しくて 涙も枯れ果てて
もう二度と笑顔にはなれそうもないけど

そんな時代もあったねと
いつか話せる日が来るわ
あんな時代もあったねと
きっと笑って話せるわ
だから今日はくよくよししないで
今日の風に吹かれましょう

助っ人の窓

素晴らしいお互い様



三石 治子

設立以来の会員ですが、助っ人で何やってきたの、やっているのと問われれば、「さあね」と。これまでに登場した「助っ人の窓」の方のように、事務所には出てないし、協力活動もほとんどやってない（これまでに数件のみ。車の免許もないせいとか、お声かけらず）。こんな会員もいるのですが、この十年ほど、「居場所」を見つけてきた。毎週月曜日に開催される「助っ人ガレッジセール」に売り子の一員として参加、皆様からの献品を売りさばいたり、復興支援のため、福島の農産品を販売したり、時には「悠々」をはじめ活動の宣伝もしたりしています。お隣の市民センターに来られる方々が主なお客さんですが、毎回寄ってくださる常連さんもいて、楽しい場となっています。

私自身、かつてはフルタイムのワー

キングマザーとして、都内の事務所に通勤、残業や出張もあり忙しい毎日を送っていたのですがある時、私と家族をしっかりとサポートしてくださっている方から、誰もが「お互いさま」といって気軽に助けあいができるような会を作るということを聞き、その趣旨に賛同して、参加した次第です。すっかりお世話になりましたので、その時のご恩を少しでもお返ししたいです。助っ人の「お互いさま」とは、なんとすばらしいメッセージではないでしょうか。最近、世の中にこの気持ちが少し薄れてきたように感じます。この「助っ人」こそ、「世直し」の担い手として、若い力にも加わってもらい、オープンな組織として世の中で地道に存続していったほしいと願っています。

昨年、傘寿（さんじゅ）を迎えた私ですが、心身の健康に留意して今後も活動にかかわってゆきたいと思っています。



♡ご支援ありがとうございました♡

2021年7月～9月、賛助会員及び寄付等で、「松戸くらしの助っ人」を支えて頂きました皆様をご紹介して、お礼に代えさせていただきます。
(お名前はあいうえお順、敬称略)

♡賛助会員

○個人会員

榎本 美智子 多根 幸子

♡寄付者

青 恵三郎 浅川 陽代里 山内 昭七 皆川 秀美 健康吹き矢



ていねいな編集と本作り

自分史・句歌集・エッセイ・小説

自費出版は 東京創作出版

(編集者 永島静香)

松戸市二十世紀が丘戸山町 53-1 ☎ 047-391-3685
ホームページ www.sosaku.info

そば・うどん
けやき庵

営業時間 11:00~15:00 17:00~20:30

定休日 松戸市新松戸6-1
毎週火曜日 新松戸支所前

☎ 047(344)5045

出前も
承ります

？ NPO法人とは ？

- ① 「特定非営利活動促進法」は、非営利活動を行う団体に法人格（NPO法人、NPO＝Non-Profit Organization、Non-Profit＝非営利）を付与することにより、ボランティア活動をはじめとする市民の自由な社会貢献活動としての非営利活動の健全な発展を促進することを目的として、平成10年12月に施行されました。
- ② NPO法人は、収益を目的とする事業を行うこと自体は認められていますが、事業で得た収益は、様々な「社会貢献活動」に充てることになります。
- ③ NPOの「非営利」とは、利益を分配しないという意味で、決算でお金が増えた場合は次の期に繰り越すか、またはそのお金を使ってさらに社会貢献すればいいということです。
- ④ 法律上NPO法人は給与を払って人を雇えますが、「松戸くらしの助っ人」の場合、事務局員への手当は給与ではなく、一日600円で活動しています。すなわち、得られた収益は全て社会貢献活動に引き当てたいと考えています。（梅田 記）



が、昨年
願います。今年こそは明るい未来が開けますように
上げます。ご寄稿くださった方々にお礼申し

編集後記

♡寄付のお願い♡

理念：当法人は、在宅で援助が必要な高齢者やその家族、その他の手助けを必要とする人々に対して、受け手と担い手が対等な関係を保ちながら住民参加と助け合い精神のもとに民主的な運営に留意し、地域に根ざしたサービス活動を行い、すべての人々が健やかで安心して暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的とする。（定款より）

助っ人の支援を充実させるために、当法人の理念をご理解いただき、あなたの支援が必要です。ご支援をよろしくお願いします。

●寄付金：一口 3,000 円（一口以上）

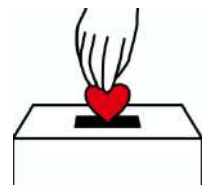
●寄付振込先：

郵便局（ゆうちょ銀行、金融機関コード：9900）

店名：〇五八（読み ゼロゴハチ）

店番：058 種目：普通預金 記号：10510 口座番号：6983354

名前：特定非営利活動法人 さわやか福祉の会・松戸くらしの助っ人
（トクヒ）サワヤカフクシノカイ・マツドクラシノスケツト



中国料理

あん り
桜 里

営業時間 AM11:30～PM2:30/PM5:00～PM9:00 定休日/木曜日
（平日）AM11:30～PM2:30/PM5:30～PM9:00
松戸市新松戸4-206 チェリーヴィレッジ1F
TEL 047-344-3187

年末年始の助っ人の休み

12月24日（金）～

1月5日（水）

介護用品の店 **アルファ**
販売・レンタル・住宅改修

有限会社 アルファメディカル 電話 047-374-5621
松戸市西馬橋蔵元町 174-1

HAIRギャラリー トライゲン
TEL&FAX **047-340-0008**

ご予約の方 優先させていただきます

営業時間/AM9:00～PM18:00

定休日/火曜日・第2,3水曜日

<http://trygen.exblog.jp/>

有限会社トライゲン

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸2-391-2 1F

